

第13代 浦添市長に松本 哲治氏が就任



就任のごあいさつ



このたび、第13代浦添市長に就任いたしました松本でございます。
これからの4年間、行政執行の最高責任者という重責を担うこととなり、その責任の重大さを痛感するとともに、この浦添市に新しい風を吹き込むべく、決意を新たにいたしましたところであります。

儀間前市長は、3期12年にわたって、1期ごとに解決すべき課題をしっかりと選択し、市政運営されて来られました。私は、このことに敬意を表するとともに、良い政策はそのまま引継ぎながら、本市の発展、繁栄に役立てて行きたいと考えております。

私が今回の選挙で、市民の皆さまに訴えてきましたことは、行政サービスの意思決定にあたり、市民とともに考える新しい民主主義を導入することです。

ご承知のように、本市は待機児童を大変多く抱える自治体の1つであります。これまで、様々な施策を展開しながらも、残念ながら待機児童解消には至りませんでした。今後は、実際に現場で苦勞しておられる職員や幅広い世代の市民の皆さまに議論に加わっていただき、認可外保育施設への支援拡充など待機児童解消アクションプランを策定してまいります。

さらには、西海岸第1ステージの利活用、キャンプキンザーの跡地利用、沖縄都市モノレール浦添延伸に伴う地域の開発など、すべての重要課題について、市民に情報をオープンにして、職員や市議会議員並びに市民の皆さまの英知を結集して取り組んでまいります。

てだこの都市・浦添は、歴史と文化が息づく素晴らしい街です。この浦添の潜在的価値をもっと引き出すため、私が培ってきた経験をいかしつつ、国際交流、人材育成、企業経済活動、文化芸術、スポーツ振興を強力に推し進めてまいります。

この4年間、11万浦添市民の幸せのため、全身全霊を捧げてまいります。市民の皆さま、ともに手を取り合って浦添から、元気、夢、希望、愛があふれる街をつくっていきましょう。



第13代 浦添市長 松本 哲治



▲朝寄の銘書 主に故人の名前 死去年 洗骨年などが記載されている。



▲2004年度に前田で 発見された朝寄や妻子の厨子甕



▲屋嘉比朝寄の厨子甕
高さ58cm 胴回り39cm 口径30.5cm 底径25cm

琉球古典音楽の継承者

屋嘉比朝寄の厨子甕見つかる！

浦添市教育委員会は2月6日、2004年度に前田地区で発見された「厨子甕」が、屋嘉比朝寄のものであることが分かり、同時に妻・真伊奴や子ども達の厨子甕も確認されたと発表しました。

確認に至った経緯として、平成24年度から本格的に銘書の確認作業や考古学的な調査、聞き取り調査等を実施した結果、朝寄の厨子甕であることが判明しました。

朝寄については不明な点が多く、これまでは家族の存在や人生、人物像が明らかにならなっていました。今回の発見でその家族構成や、晩年には「朝儀」と名乗っていた可能性のある等の新発見もありました。

今回の発見を機に、更なる朝寄の人物像や琉球古典音楽の歴史を紐解く足掛かりとなることが期待されています。

屋嘉比 朝寄（1716～1775）優れた創作力と音楽の資質を持ち、作曲や独自琉球音楽記譜法を創案しました。中でも現存する最も古い三線の楽譜で沖縄県指定有形文化財でもある「屋嘉比工四」を編さんし、琉球古典音楽継承の礎



▲厨子甕の調査に携わった皆さん

を築いた人物として有名です。

厨子甕
洗骨後の遺骨を納める骨壺をいいます。古くは木製や石製の厨子を使用していました。が、近世期は主に陶製のものが使われました。朝寄の厨子甕は陶製にあたります。

屋嘉比工四
朝寄によって編まれた琉球古典音楽の楽譜で、17曲収録されています。独特の符号（漢字）によって三線のツボ（音階）を示したものです。符号の側に歌詞を力タカナ書きし、弾き歌いができるようになっています。

朝寄によって編まれた琉球古典音楽の楽譜で、17曲収録されています。独特の符号（漢字）によって三線のツボ（音階）を示したものです。符号の側に歌詞を力タカナ書きし、弾き歌いができるようになっています。